



うすば よしひろ
薄葉 好弘 議員

地域を悩ます悪臭対策は？

監視指導を徹底

ため池の除染について

モニタリング検査にて安全性の確認。

薄葉 農林水産省の「ため池」の除染に関する技術マニュアル策定により県でもため池除染や実態調査などに取り組むと言っていますが、当町内の47カ所の農業用ため池のモニタリングで、どの程度を把握しているのか。また、基準値以上の放射性セシウム濃度が高く除染しなければならぬ「ため池」があるか。

町長 当町では、ため池台帳に掲載されている全ての農業用ため池、47箇所の調査を実施しました。その結果「北田池」、「入の沢池」、「子八清水池」の3カ所において基準値^{8,000}ベクレルを超過しましたが、農業用水モニタリング検査では安全性を確認しました。また、米の全量全袋検査においても、基準値を大きく下回っております。

養鶏場の悪臭について

県南家畜保健衛生所との連携を図る。

薄葉 堤行政区内にある養鶏場ですが、出来た当初から隣接している地区住民は悪臭に悩まされております。養鶏場の方と協議はしておりますが、具体的な対策は講じられず、技術的な施設の改善もされていないので、町は現在までの養鶏場の悪臭の把握と今後悪臭防止法も含めた対策をどのように考えているのか。

町長 平成18年から苦情があり、町としてはこれまで、県南家畜保健衛生所とともに、排泄物法や家畜伝染病予防法に基づく立入り調査を7度実施し、堆肥舎施設の悪臭対策、発生場所の密閉化、糞尿処理施設の整備、脱臭技術などの指導を継続して行って参りました。町としては、今後も県南家畜保健衛生所との連携を図りながら、対策や協議へ指導を行ってまいります。



養鶏場（イメージ）

町内JAの合併について

町全体を統一することでのスケールメリット。

薄葉 町内の2JAも来年3月に合併致しますが、当分の間は、現状のJA組織体制のままです。事業を進めると言う説明がされておりますので、今後の町の農業振興と農家の営農向上にも合併による効果とメリットを期待しておりますので、JA合併後の組織体制の対応について、町はどのように考えているのか。

町長 町はこれまで、それぞれのJAと連携を図り、営農活動の各種説明会等を開催してまいりましたが、JAが合併し、営農施策や方針が一本化すれば、町全体を統一することによるスケールメリットや農家の皆さんにとっても分かりやすい営農活動の支援が実現できるものと期待をしております。

町政を問う（一般質問）

その他の質問

・通学路の危険箇所について